

令和7年度進行管理・評価シート
桐生市歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）
（最終変更 令和8年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画に関する施策	2
2 景観計画による景観誘導等	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 伝統的建造物公開活用事業	4
2 歴史的風致形成建造物保存整備事業	5
3 伝統的建造物保存修理事業	6
4 伝統的建築物保存技術継承支援事業	7
5 本町通り整備事業	8
6 桐生新町伝建地区及び周辺整備事業	9
7 景観阻害物調査改善事業	10
8 伝統産業周知啓発事業	11
9 伝統産業保護育成事業	12
10 地場産業振興事業	13
11 織物体験事業	14
12 祇園屋台・鉾伝承活用事業	15
13 無形民俗文化財伝承支援事業	16
14 歴史まちづくり推進啓発事業	17
15 「桐生を好きな子供」を育てる事業	18
16 歴史的建造物調査活用事業	19
17 歴史文化基本構想等策定事業	20
18 歴史文化資料公開事業	21
19 文化財案内標識整備事業	22
20 観光案内等情報提供事業	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存又は活用の現況について	24
2 文化財の修理に関する取組み	25
3 文化財の防災に関する取組み	26
4 文化財の普及・啓発に関する取組み	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	28
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 市民団体等との連携について	29

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		令和7年度
項目		現在の状況
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

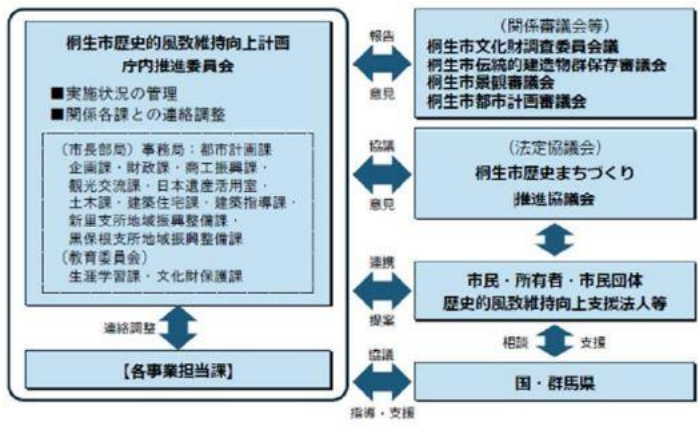
計画に記載している内容
 歴史的風致維持及び向上を推進するために、関係各課課長で組織する「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を引き続き設置し、担当部局との連絡調整や実施状況の管理と評価を行う。また、国・県の関係機関との協議を行うと共に、「桐生市歴史まちづくり推進協議会」において、事業の進捗状況や計画変更等にかかる協議を行う。必要に応じて都市計画審議会や文化財調査委員会、市民団体などと連携を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

年度内事業進捗状況の報告、歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取、計画の軽微な変更、計画変更、進行管理評価シートに関する意見聴取を踏まえ、「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を令和7年7月18日、令和8年2月3日に開催し、法定協議会である「桐生市歴史まちづくり推進協議会」を令和7年8月7日、令和8年2月18日に開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	法定協議会において、委員の任期満了に伴い新たに委員となった方への各事業や制度等に関する説明方法が課題となっている。会議開催前に新たに委員となった方へ会議資料等を持参し説明を行うことを継続していく。

状況を示す写真や資料等



桐生市歴史まちづくり推進協議会開催の様子 (令和7年8月7日)

- 第22回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会 (令和7年7月18日開催)
 - ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
 - ・歴史的風致形成建造物の指定について
- 第23回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会 (令和8年2月3日電子会議室にて開催)
 - ・進行管理・評価シートについて
 - ・軽微な変更について

- 第23回桐生市歴史まちづくり推進協議会開催 (令和7年8月7日開催)
 - ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
 - ・歴史的風致形成建造物の指定について
- 第24回桐生市歴史まちづくり推進協議会開催 (令和8年2月18日開催)
 - ・進行管理・評価シートについて
 - ・軽微な変更について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
都市計画に関する施策	<input type="checkbox"/> 実施済	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 未着手

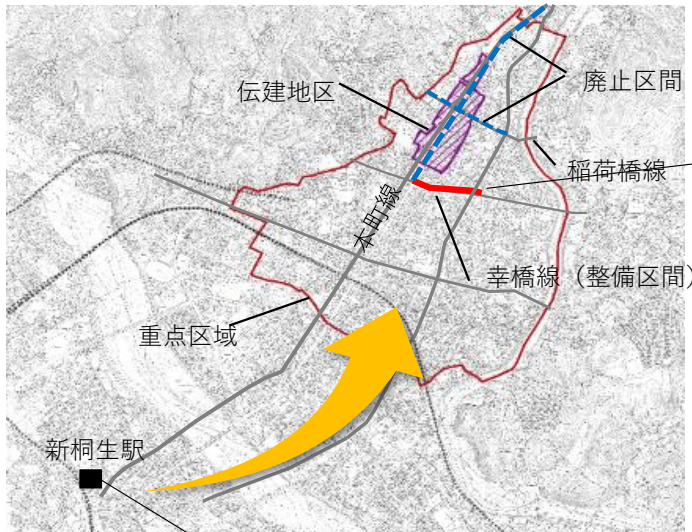
計画に記載している内容
 ・重点区域は、桐生都市計画区域の市街化区域内で、桐生地区の中心市街地に位置している。重点区域の中心には、本町通りを中心に形成された桐生新町伝建地区が都市計画決定されていることから、中心市街地としての都市機能の集積と歴史的な町並みの保全との両立を図るとしている。
 ・都市計画マスタープランにおける目標の1つとして「歴史・文化資源を活かした魅力的なまちの形成」を掲げ、「拠点」「都市軸」などの構成要素を基本に歴史・文化資源を活かした魅力的なまちの形成を推進するとしている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に伝建地区の町並みや地割を保存するため同地区内の都市計画道路(本町線・稲荷橋線の一部)を廃止し、伝建地区の通過交通の抑制を図りつつ円滑な交通網の構築を図るため幸橋線の現道拡幅整備を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新桐生駅における一連の事業が完了したことで、景観や利便性が向上したが、玄関口として今後周辺地域を含めた活性化やまちなかへの円滑な誘導に繋げていくため、今後関係部局や団体等と具体的な施策を検討していく。

状況を示す写真や資料等



※幸橋線整備：令和4年度に完了

※新桐生駅前広場整備：令和3年度に完了

位置図

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
景観計画による景観誘導等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 桐生市景観計画における良好な景観の形成に関する方針では、地域の特徴や個性を生かした景観形成を図るため、市域全域を6つのゾーンに分け、ゾーンごとの景観形成誘導基準や色彩基準を設けている。重点区域にも含まれている「歴史景観」ゾーンでは、他ゾーンより厳しい色彩基準を設けるなど歴史的資源が周辺景観と調和が図られるように誘導し、より魅力的な景観の形成と保全を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成28年に制定した「桐生市景観計画」に基づき、市全体を景観計画区域とし、良好な景観形成のため規制誘導を実施した。対象となる規模の建築行為等について届出を課し、色彩基準や意匠等について助言を行い景観誘導を図った。
 本年度届出件数:21件(令和7年12月31日現在)のうち、重点区域内0件・歴史景観ゾーン内0件
 ・多くの方に景観を意識し、考えていただく機会とするため、令和7年12月5日に保健福祉会館で景観講演会を開催した。講演会では、ファッションデザイナーでアトリエ兼ボードゲームカフェ「ふふふ」を経営されている和崎拓人氏を講師に迎え、「デザイン目線で見る繊維の街桐生の景観 真・善・美」とのテーマで講演をいただいた。より多くの方に見ていただけるよう講演内容は後日動画で配信した。また、関連イベントとして、講演会に関するパネル展を、市役所1階多目的スペース(令和7年11月19日～12月5日)で実施した。
 ・県内市町村の景観・まちづくり行政の写真や取り組みについて紹介する「ぐんま景観・まちづくり展」に出展し、群馬県公式Youtubeチャンネル「tsunos」で桐生の風景や景観講演会等の動画を配信し、広く周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 制度についての理解を深めることと魅力的な景観についての意識を高めることが、良好な景観形成につながっていくと思われる。今後も景観制度の周知と景観の意識を高める取組を検討していきたい。

状況を示す写真や資料等



景観講演会チラシ



景観講演会パネル展示



景観講演会の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
伝統的建造物公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和8年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容 地域の歴史や伝統産業に関する資料展示等を行い、当地区の歴史的な価値について理解を深めるために、補助金を活用して桐生新町伝建地区にある伝統的建造物を取得し、活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重伝建地区公開活用施設(まちなか交流館)が令和6年7月9日に開館し、地区の伝統的建造物を保存するとともに、情報発信の場、コミュニティの場、まちの賑わいを演出する場とし、活用を図った。開館1周年を記念し、地区住民等を対象に機運醸成を図ることを目的とした講演会を開催した。ミセ座敷の常設展示の他、奥座敷や廊下等にて企画展示を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	まちなか交流館、多目的広場の活用について、地域イベントなどでの活用等、今後も積極的な活用を進めていきたい。
--	---

状況を示す写真や資料等

- ☆開館1周年記念講演会
 - テーマ 桐生新町の歴史的資源を生かしたまちづくりの可能性を考える
— 全国に広がるNIPPONIAの地域活性化事例を参考に—
 - 開催日 令和7年7月16日(水)午前10時～午前11時30分
 - 参加者 26名
- ☆第4回企画展示「祝全国優勝記念 群馬県立桐生工業高等学校 建築甲子園と桐生新町重伝建の歩み展」
 - 期間 令和7年4月26日(土)～令和7年5月18日(日)
 - 内容 建築甲子園に出展された重伝建地区に関する作品等の紹介
- ☆第5回企画展示「まちなか交流館にまだ！まだ！まだ！あるトリビアPart2」
 - 期間 令和7年7月12日(土)～令和7年9月7日(日)
 - 内容 続トリビアとして新たなポイント部分の展示紹介
- ☆第6回企画展示「桐生祇園屋台の歴史」
 - 期間 令和7年10月20日(月)～令和7年11月10日(月)
 - 内容 桐生祇園屋台の組立映像やその歴史等を分かりやすく紹介
- ☆第7回企画展示「重伝建地区と日本遺産 Part2」
 - 期間 令和8年2月1日(日)～令和8年3月1日(日)
 - 内容 日本遺産認定都市間連携を行っている地域の紹介



開館1周年記念講演会の様子



外観 ※電線類の地中化や石畳風舗装など整備工事が行われ、歴史的な町並みとの調和が図られた



11月1日、2日、3日に多目的広場にて開催された「桐生祇園屋台総揃え」の様子

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定し、建造物の価値を高め、所有者の位置付けや観光資源としての活用を図る。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 ・歴史的風致形成建造物の指定については、所有者と協議の結果、防犯面等を考慮し指定を行わないこととなった。
 ・歴史的風致形成建造物を紹介する動画を作成し、市の公式YouTubeチャンネル「桐生市チャンネル」で配信を行った。建造物を紹介する動画配信はこれまで歴史まちづくりに興味を持っていない層への周知や建物の保存と活用の機運醸成を図るための手段として令和2年度から行っており、令和4年度までは市職員が自作していたが令和5年度から動画作成業務を委託し、よりクオリティの高い動画を配信することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・歴史的風致形成建造物候補物件について、補助制度の施行が整っていない為、引き続き検討を行う。また、所有者の高齢化にともない候補物件の維持管理が困難になることが想定される。 ・所有者の意向、事情などを考慮し今後も丁寧な対応を心掛ける。

状況を示す写真や資料等



歴史的風致形成建造物紹介動画(サムネイル画像)
 指定番号12号 桐生倶楽部会館の紹介動画を作成した。

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
伝統的建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成25年度～令和8年度
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容	桐生新町伝建地区の特定物件の保存修理を実施する事業者に対し、修理に掛かる経費に対し補助金を交付する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度について、1件の保存修理事業を行った。令和6年度の保存修理事業の2件のうち1件について、設計監理者及び施工者の確保に時間を要し繰越となった伝統的建造物の修理を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・保存修理事業(補助制度)の主旨について、事業者(建物所有者)の理解を深めることが必要のため、実施した修理についての情報共有等について検討していきたい。 ・伝統的建造物の所有者へミニ広報誌「伝建群だより」などで保存修理への啓発を行う。 ・保存修理を行う技術者の確保(養成)が必要のため、現場見学会等行いたい。

状況を示す写真や資料等

○保存修理事業の状況

【令和7年度実施 保存修理事業物件】



修理前状況



工事状況

【令和6年度繰越 保存修理事業物件】



修理前状況



工事状況

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
伝統的建築物保存技術継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の保存・活用に向けて、伝統工法や技術を継承するための専門家を育成する団体等の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桐生伝建修習の会と共に、北関東歴史まちづくり連絡会への参加により、連携先の桜川市において、現地見学及び意見交換会を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	伝統工法について関心を示す技術者が少なく、新たな研修参加者が見込めないため、現場見学会等で伝統工法を知ってもらう機会をもうけていきたい。
--	--

状況を示す写真や資料等

- 開催日 令和8年2月16日(月)午後2時～午後5時
- 場所 桜川市真壁伝統的建造物群保存地区
- 内容 現地見学
 - ・旧木村家住宅
 - ・村井醸造
 意見交換会:真壁伝承館まかべホール
 (現地見学において気になった点や最近の課題等)
 - ・空き家について
 - ・地区のイベントについて
 - ・出店者について
- 参加者 29名(桐生市職員、桐生伝建修習の会他)



現地見学の様子



意見交換会の様子

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
本町通り整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和6年度

支援事業名 防災・安全交付金(道路事業)

計画に記載している内容 桐生新町伝建地区内の本町通りを、歴史的な町並みとの調和を図るために、電線類地中化と歩道整備を行い、舗装等の美装化を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

電線類地中化が令和6年12月に完了し、歴史的町並みと道路空間の調和が図られると共に、道路利用者の安全性が向上した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

整備完了後も歴史的町並みと道路空間の調和と道路利用者の安全性の向上について検討を続けていく。

状況を示す写真や資料等

着手前



完成後



着手前



完成後



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
桐生新町伝建地区及び周辺整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成31年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)・市単独事業

計画に記載している内容 周辺景観に配慮した市道の美装化や歩道整備とともに、地域の魅力を満喫できるよう周辺環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内随一の来訪者数を誇る桐生が岡公園と近接する重伝建地区の回遊性を向上させるため、社会資本整備総合交付金等を活用し桐生が岡公園及び重伝建地区の周辺整備を行っており、桐生が岡公園と重伝建地区をつなぐ市道の美装化工事が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

市道の美装化については、群馬県事業である本町通り整備事業と施工範囲や施工時期の調整を行い、市道の整備を先行して実施した。今後も桐生が岡公園と重伝建地区の回遊性の向上を目指していきたい。

状況を示す写真や資料等



道路美装化工事 (横町通り)



道路美装化工事 (酒屋小路)



道路美装化工事 (買場通り)



道路美装化工事 (ゑびす通り)

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
景観阻害物調査改善事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 桐生市景観計画を策定し、群馬県から屋外広告物条例を移譲されたことから、景観を阻害している建築物や屋外広告物の改善に向けて現状調査し、実態を把握したうえで指導や相談を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・毎年度、改善路線を定め、対象路線及び市内主要交差点などに設置されている基準に適合しないものや未手続の違反広告物を表示する広告業者・広告主・土地所有者に対して改善要請を行い、景観を阻害する屋外広告物の改善に努めた。令和7年度改善路線は、県道67号桐生岩舟線沿い(境野町一丁目交差点から足利市方面へ約1.7kmの区間)の違反屋外広告物の改善要請を行った。
【指導件数:38件(令和7年12月31日現在)】
・違反広告物把握のため定期的なパトロールの実施や、違反簡易広告物の除却活動を行い良好な景観の保全に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない
過年度の未改善のものも引き続き指導を行いながら、次年度以降も路線を定め取組を実施したい。また、撤去、改修費用が高額で予算の捻出が困難のため改善が進捗しないケースもあるため、補助金等の新たな制度を検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



指導前



指導後

交差点からの離隔が不足している広告物の撤去を行った。



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
伝統産業周知啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 織物にゆかりの深い建物を活用して織物産業関連資料を展示し、織物に関する歴史や技法の理解を深める機会を創出する。また、伝統産業における各工程や技法を、ホームページや動画等、各メディアを活用しながら、情報発信を行うとともに、見学や体験イベントなどを通して、周知啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桐生織物記念館にて織物を中心とした郷土資料展示を継続的に行うとともに、企画展示を2回実施した。また、「織物記念館の日」のイベントを開催し、着物で来場した人を対象に着物や帯などの豪華賞品が当たる抽選会のほか、桐生織の帯や着物などを地元ならではの感謝価格で販売する機屋感謝市を開催するなど、各種イベントを通じて、桐生織の歴史や技術の変遷について広く周知した。加えて、市のホームページに桐生織物の製造工程の詳細や動画を掲載し、伝統的工芸品である桐生織の啓発に努めている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	来館者の増加や着物を着る機会の創出のため、抽選イベントや特別販売会を実施しているところ、引き続き様々なイベントを企画・実施し、周知啓発の強化に努めていきたい。
--	---

状況を示す写真や資料等



織物資料室企画展「ゆかた帯・ゆかた展」



桐生織物記念館の日

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
伝統産業保護育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和39年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の伝統産業である繊維産業は、生活様式の変化等による需要の変化への対応や技術の継承が課題になっているため、新商品の開発や新たな販路の開拓により、経営体質強化を図る。また、桐生織物に携わる職人の高齢化や新規就労者も少ないことから、伝統技術の継承や後継者を育成する環境を整えることで、伝統産業の保護・育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桐生織物の新製品開発や宣伝、展示発表などの各事業に係る経費に対して、桐生織物協同組合に補助を行った。補助金名称:繊維関連団体事業推進補助金(桐生織物宣伝)(桐生織物新製品開発)(国内婦人服地新製品開発)織物宣伝事業では、年6回の商談会を開催し、5月に開催した桐生織物織姫展(東京)には23社38人の来場があったほか、10月に開催された桐生テキスタイルコレクション2026には170社384人の来場があり、販路拡大を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない

例年実施している展示会であり、業界での知名度は高く固定客も多い中、更なる販路拡大に向けて検討していく必要がある。これら組合での活動を通じて経営体質強化や伝統産業の保護・育成につなげていく。

状況を示す写真や資料等



桐生織物織姫展 (5月東京展)



桐生テキスタイルコレクション (10月東京)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
地場産業振興事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和62年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 繊維産業などの地場産業の振興・育成・発展を目的に公益財団法人桐生地域地場産業振興センターに対する運営経費の補助とともに、商品開発、情報収集提供事業補助、人材育成等支援事業補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

運営費の補助を行うとともに、桐生産地における繊維産業の展示事業(桐生テキスタイルプロモーションショー)や情報収集提供事業(専門家を招いたトレンドセミナー)、後継者育成を目的とした繊維大学などの各事業に対して補助を行った。3月には年1回の桐生テキスタイルプロモーションショーを東京都恵比寿で実施し、販路拡大を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

繊維産地の活性化や地域ブランドの推進に向けて、魅力ある商品・企業等を効果的に発信していく必要があり、今後も新商品開発や展示会を通じて「繊維産地桐生」をPRするほか、繊維大学をはじめとした若手人材育成も継続して取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等



桐生テキスタイルプロモーションショー (東京都恵比寿で開催)



繊維大学を通じて若手人材の育成を目指す



専門家を招きトレンドセミナーを開催した。参加者は真剣に耳を傾けていた

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
織物体験事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「桐生織 伝統工芸士」及び桐生織物協同組合事務局職員が学校へ出向き、学年単位で織物の仕組みや織物製品、伝統工芸品の特性、技法、原材料についての講話を行う。また、児童一人一人が実際に織機を使い、その仕組みを学びながら、織物製品を手織りで製作する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・市内全小学校の3年生または4年生に対し、桐生織物の歴史や絹織物の仕組みの学習と手織り体験を実施した。講師は、桐生織を知り尽くした桐生織伝統工芸士が担当した。各学校に手織り用の織機を搬入して手織り体験を行い、また各学級でDVDを視聴後、機結びの実習をした。実際に製品や織機に触れて学んだ。市内17校 約550名)</p> <p>・市内の中学校特別支援学級に所属する生徒が工房「風花」に集まり、1年に4回、回転整形式手織機「フラミンゴ」を使用し、手織り体験を行い、一人1作品のタペストリーなどを制作した。(生徒のべ約40名)</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		桐生織伝統工芸士の参加調整が時期によっては厳しい。伝統工芸士の参加できる日と学校の予定を調整し、日程を決定していく。また、織機の傷みがすすんでいる。修理等を検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
機織り機の使い方の説明を受ける児童		機結びを実践している様子	
			
機織りに挑戦している様子			
＜児童の感想＞			
<ul style="list-style-type: none"> ・最初は難しいと思ったけれど、丁寧に教えてくれたから簡単にできました。 ・一反を作る(織る)には、何十時間もかかるそうで、しかも、女の人が中心でやっていたそうなので、大変だったのかなと思いました。 ・昔の人は織物をするのが大変だったけど、今は便利になったということを知ることができました。 ・機械を使って織ると時間がかからずにできるけれど、手で織った方が、気持ちがこもっていてよいと思いました。昔の機械をさわることができて、本当にうれしかったです。 ・糸を通すのが難しかったけど、楽しかったです。足で踏むのが大変だったけど、慣れてくると簡単でした。また、やりたいです。 ・織物の作り方が知れて、楽しかったです。機結びの結び方が難しかったです。 ・機織りをするのが難しかったです。何回もやっていると上手になりました。横糸を入れてトントンするのが楽しかったです。いろいろ教えてもらって嬉しかったです。 ・赤と青を順番に踏んで、横糸を通すのが楽しかったです。機結びは、最初は難しかったけど、できて楽しかったです。 			
＜教師から見た成果や児童の変容等＞			
<ul style="list-style-type: none"> ・織物体験当日は、講師の話に目を輝かせながら、インタビューの内容を真剣にメモにとって聞くことができた。また、織物体験として平織りを織機で織らせていただいたことで、織物に対して更に興味がわいたようだった。実際に織機の仕組みに驚く児童もいて、「織機のペダルを踏むのによって、模様が変わることがわかった」などと言う児童もいた。 ・機結びでは、DVDを見ながら繰り返し機結びに取り組むことでほぼ全ての児童が自分で機結びを行うことができるようになり、うれしそうな表情を多く見ることができた。 ・現在、総合的な学習の時間は、「桐生織のプロになろう！」をテーマに1年間取り組む計画になっているので、今回の事業を、その学習に生かしていきたい。 ・実際に機織り体験することで、織物はたて糸とよこ糸の組み合わせでできていることがよく分かった。そして、昔はこうやって手で機織りをする大変さにも気づいたようだ。 			

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
祇園屋台・鉾伝承活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 江戸文化を色濃く残した桐生祇園祭において、本町各町会で所有している祇園屋台と鉾の損傷している部分を修理したうえで、文化財指定や通常展示を含めた公開方法について検討する。また、桐生祇園祭の次世代の後継者を育成するために、子供たちを対象としたお囃子の講習会や桐生祇園祭の歴史・風習を学ぶ講座を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祇園屋台及び鉾の文化財指定に向けた調整を行った。今後も地域住民等と連携し指定に向けた協議を続けていきたい。令和7年11月1日・2日・3日の日程でまちなか交流館多目的広場及び桐生鉾座にて「桐生祇園屋台総揃え」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 祇園屋台・鉾については維持・修繕に費用がかかることや修繕技術を持った職人を探す必要がある状況については把握しており、今後も地域住民等と文化財指定に向けた協議を続けていきたい。また、適切に祇園屋台・鉾を公開する機会を設け、広く一般に周知をしていきたい。

状況を示す写真や資料等

令和7年11月1日・2日・3日の日程でまちなか交流館多目的広場及び桐生鉾座にて「桐生祇園屋台総揃え」を開催した。
 桐生祇園屋台6台を組み立てた状態で同時展示するイベントは史上初の試みであり、桐生市合併20周年記念事業として行われた。
 また、屋台上では前田原の獅子舞をはじめさまざまな伝統芸能が披露され、訪れる人々を楽しませた。



組み立てられる祇園屋台たち



開催案内ちらし(左:表面 右:裏面)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財伝承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 市指定の文化財に限り、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら老朽化により保存や更新が難しくなっている祭礼・行事で使用する用具等の更新支援や修理のための情報提供を行う。また、資金不足や後継者不足により、記録化が図られていない祭礼・行事について、調査・研究を進めて記録化の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗文化財に係る用具等の更新や修理などについての相談はなかったが、今後相談等の申し出があれば、修理方法や補助等の支援も含め情報を提供していく。
 指定・登録に該当するような文化財があれば、事前に調査を実施し、記録保存も行っている。
 黒保根町における市指定重要無形文化財である涌丸獅子舞及び前田原獅子舞のうち、涌丸獅子舞については担い手不足により保存会が解散していたが、黒保根公民館を中心に、新たな担い手の募集支援や地元関係者との話し合いを重ね、令和7年1月に地元有志による新たな保存会が発足された。令和7年度はこれまでの保存会活動費補助金に加え、強化支援として追加で補助金が交付され、伝統活動に必要な指導者等への報償費や舞に必要な笛や足袋等の購入費に充てられた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も、用具の更新及び修理方法等の情報提供や、祭礼・行事の記録保存について引き続き実施していく。 保存会の活動への支援を今後も継続していく。

状況を示す写真や資料等



白瀧神社太々神楽



賀茂神社太々神楽



桐生和紙生産技術



祇園屋台総揃え時に披露された前田原獅子舞



令和7年1月に発足した新しい保存会により披露された涌丸獅子舞
 舞とお囃子の練習を重ね令和7年5月11日に行われた第77回「桐生市文化祭」の開会式にて「ささら舞」を披露した

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり推進啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の歴史文化遺産や歴史まちづくりに関連するシンポジウム・講演会・バスツアー等を開催する。また、歴史的風致維持向上支援法人の設立を視野に、歴史まちづくりに関連する事業について、本市との適正な役割分担のもとで事業を推進できるまちづくり団体等の設立を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市固有の歴史や文化に対する理解を深め、歴史まちづくりを推進していくため、歴史まちづくり講演会を以下の通り実施した。
 テーマ:「川内の歴史と白瀧姫伝承」
 開催日: 令和8年1月21日
 会場: 中央公民館
 講師: 小野里 了一 氏
 参加人数: 18名(申込者数20名)
 ・講演会に参加できなかった人や市の取り組み等を広く周知するため、講演会の様子を、市のYouTubeチャンネルで配信した。配信にあたっては、外部事業者への委託を行わず、課で所有するビデオカメラを使用し撮影する等、配信までの作業をすべて職員で行った。

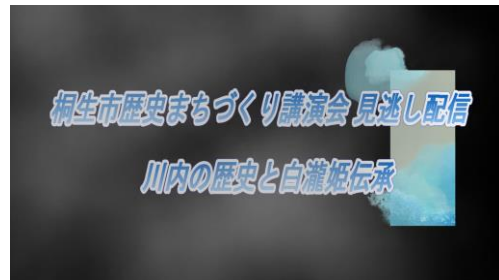
進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	若者世代の参加を増やすことが検討課題である。若者にも興味を持ってもらえるように周知方法を検討するほか、歴史まちづくりに興味のある世代が、若者世代を連れて来られるような講演会にできないか検討を続ける。現状、高齢世代の参加がほとんどであるため、段差の少ない会場や椅子のある会場を手配するなど会場の選定に今後も配慮していく。

状況を示す写真や資料等



歴史まちづくり講演会の様子



講演会の動画配信 (サムネイル)

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
桐生を好きな子供を育てる事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「桐生を好きな子供」を育てる事業における歴史や文化遺産の体験事業により、地域住民との交流等を通して桐生の歴史や伝統文化に直接触れる様々な体験を行い、郷土愛を育成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・桐生に愛着と誇りを持ち、将来にわたって桐生で活躍できる子どもの育成に重点を置いた様々な取り組みを、各学校や幼稚園をはじめ全庁的に実践し、それらを報告書にまとめた。その中で、桐生の歴史や文化に関連する事業49件を実施し、延べ7439人が参加した。伝統文化の伝承などに寄与することができた。 ・子どもが地域の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後等に安全に安心して活動する拠点を設け、各地域の特色や人材を生かした体験・交流活動、学習等を行う「放課後子供教室」において、昔遊び等を実施し、子どもたちは生き生きと活動することができた。(参加者831人)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		公民館や放課後子供教室などの活動内容について、桐生の歴史文化に関連したプログラムを検討する。	

状況を示す写真や資料等



図書館 桐生に伝わる民話を聞こう



放課後子供教室 ジャンボカルタに挑戦



彦部家住宅 タケノコ掘り
(未来創生塾)



放課後子供教室 昔遊び

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
歴史的建造物調査活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成31年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域固有の歴史的資源である歴史的建造物の保存活用のため現地調査と活用に向けた相談体制の構築を図る。また、空き家空き地バンクにおける情報提供の充実と相談体制の構築を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

空き家・空き地バンクに掲載する物件提供や購入に関する相談は約150件、空き家・空き地バンクの成約件数は約30件であった。空き家・空き地バンクホームページのほか、新たにinstagramを利用した情報発信を開始した。また、空き家対策セミナーと無料相談会を開催し、所有者へ相談体制の充実を図った。歴史的建造物を空き家・空き地バンクに登録したいなどの相談はなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

相続した物件を手放すことに抵抗があり、管理ができなくなり相談をするケースが多数ある。歴史的建造物が空き家・空き地バンクに登録されたケースはないが、相続登記の義務化や空き家・空き地バンク制度を周知し、相談体制を充実させ歴史的建造物の早期活用へ繋げる。

状況を示す写真や資料等

空き家対策室instagram



空き家対策セミナーと無料相談



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財保存活用地域計画等策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域に存在する文化財を総合的に把握し、その保存及び活用に関する基本的な方針を定める「文化財保存活用地域計画」策定に向けた調査を行う。また、現在の市史は、編さんされてから50年以上が経過していることから、新たな市史の編さんに向けた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市史編さんについては、市史の編集方針や内容を議論する桐生市史編集委員会を4回、編さん事業の進捗状況を報告する桐生市史編さん審議会を1回、講演会を1回開催した。また、市史編さん事業の成果報告の一環として昨年度刊行した『桐生市史研究』第2号の頒布を行い、100冊近くを販売した。史資料の収集及び調査が本格化し、特に貴重な史資料については、デジタルカメラ撮影やスキャニングによるデジタルデータ作成を行った。公的機関に保管されている貴重な史資料調査に加え、直接市民に聞き取りを行うフィールド調査も進めた。「文化財保存活用地域計画」策定に向け、指定・未指定を問わず地域に存在する文化財を的確に把握するための調査の実施について検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査が進むにつれ、個人宅の史資料等の寄贈・寄託希望が増えてきたが、現在十分な資料保存場所を確保できておらず、受け入れが難しい。市有施設を利活用するなど、市史編さん事業終了後の史資料の保存・管理も踏まえ、場所の確保を行っていきたい。「文化財保存活用地域計画」策定に必要な文化財の保存と活用に関する課題・方針・措置について検討する。

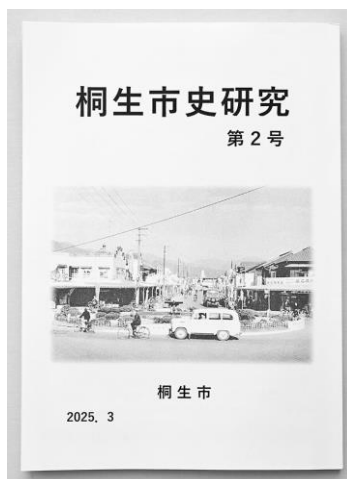
状況を示す写真や資料等



新里町板橋地区にて行われた聞き取り調査



栃木県立文書館での史料調査

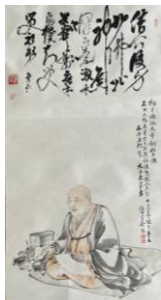


『桐生市史研究』第2号

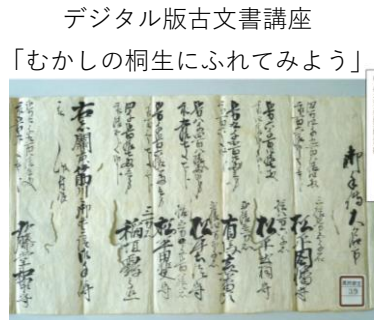
評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史文化資料公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の歴史文化に関する資料の収集、保全を進めるとともに、希少な郷土資料やゆかりのある人物などに関する資料を公開し活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・桐生市立図書館所蔵の絵図面や古典籍のデジタルデータを作成し、その一部を群馬県立図書館HPの地域資料デジタルコレクションサイト上で公開した。また、図書館所蔵の古文書を紹介するデジタル版古文書講座「むかしの桐生にふれてみよう」を、桐生市立図書館HP上で公開している。 ・郷土資料管理事業では、幕末に桐生新町の町役人(年寄)を務めた、新居喜左衛門の役用日記の『新居喜左衛門役用日記(四)原文編』を作成・刊行した。 ・絹撚記念館では、本市の歴史文化に係る資料展示のほか、企画展として「桐生・御朱印巡り」展や「桐生のシン・公共施設」展、「桐生・ロケ地巡り」展を実施した。 ・重伝建地区公開活用施設(まちなか交流館)では、重伝建地区等に係る常設展示のほか、企画展示を開催した。 ・桐生歴史文化資料館への運営費補助金を支出した。 ・「近代化遺産の日」記念事業として、桐生明治館をはじめとした市内近代化遺産35か所の一斉公開を実施した。公開事業の一環として、市指定史跡「日本織物株式会社発電所跡及び煉瓦積遺構」で特別企画「桐生の電気事始めー日本織物株式会社の水力発電ー」を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	常設展や企画展など歴史文化に関する資料の公開については、文化財の活用を踏まえて工夫しながら引き続き実施していきたい。		

状況を示す写真や資料等



「石田九野肖像」
桐生新町五丁目に生まれた図案家。
斬新で華麗な模様を創案し、桐生の織物の地位を向上させた。



デジタル版古文書講座
「むかしの桐生にふれてみよう」

絹撚記念館 企画展チラシ



まちなか交流館
企画展示チラシ(一部抜粋)



「近代化遺産全国一斉公開2025in桐生」ポスター



「桐生・御朱印巡り」「桐生のシン・公共施設」



「桐生・ロケ地巡り」

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
文化財案内標識整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和40年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業、ぐんま絹遺産保存活用総合支援事業補助金

計画に記載している内容 市指定文化財のうち、建造物や史跡などの看板設置が可能な物件について、その歴史的価値を解説した説明板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定重要文化財「東禅寺角塔」について、老朽化していた従前の説明板を撤去し、新たな説明板を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 引き続き設置位置・解説内容を精査し、優先順位を考慮しながら進めていきたい。

状況を示す写真や資料等



東禅寺角塔 文化財説明板

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
観光案内等情報提供事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業・地方創生推進交付金

計画に記載している内容 桐生新町伝建地区等に訪れた観光客が歴史や文化を学びながら観光活動を楽しむ環境を整えていくために、行政、観光関係者、民間事業者、NPO法人、地域の住民などが連携して観光情報等を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・まちなか観光の拠点である桐生市観光情報センター「シルクル桐生」において、各種観光情報の発信や観光案内のほか、(一社)桐生市観光物産協会へ事業を委託し、多様なパンフレット等を活用しながら、観光情報発信と物産販売を実施した。
 ・観光客や旅行会社からの市内散策に伴う観光ガイドについての問い合わせに対しては、(一社)桐生市観光物産協会が運営する“織都桐生”案内人の会を紹介し、桐生新町伝建地区を巡るツアー等の対応を行った。
 ・低速電動コミュニティバス「MAYU」を運行し、桐生新町伝建地区を含む市内の周遊観光の促進を図った。また、令和7年度は、重伝建コースのイベント版として、重伝建(第一土曜)コースを新たに設定し、買場紗綾市の開催に合わせた新規路線を開設した。そして、「MAYUカード」についても、今年度は新たな種類を作成し、利用者に対し無料配布を行うことで、「MAYU」の周知及びさらなる利用促進を図った。
 ・日本遺産の情報提供・発信強化のため、重伝建地区を始めとした市内構成文化財6件を巡る「オリジナル御朱印風スタンプラリー」など、各種イベントを実施した。
 ・桐生市と未来創生塾の協働による「日本遺産講座(実践ガイド)」として、ガイドツアー「着物でめぐる日本遺産」を実施し、実際に現地を巡りながら、参加者へ日本遺産等の情報を提供した。
 ・令和6年度から、新たに市主催「子ども観光ガイド養成講座(日本遺産編)」を実施し、1年目コース受講生は座学・現地見学等、2年目コース受講生はガイド原稿作成及び「日本遺産の日」展の一環として実際にスポットガイドを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 シルクル桐生の認知度が高まり、今後も問い合わせが増えていくことが想定されるなかで、引続き観光案内における情報収集やスキルアップが必要である。

状況を示す写真や資料等

桐生市観光情報センター「シルクル桐生」 「MAYU」重伝建(第1土曜)コース MAYU乗車記念カード



「織都桐生」案内人の会 観光ガイドの様子



「子ども観光ガイド養成講座(日本遺産編)」講座の様子(2年目コース)



未来創生塾「日本遺産講座(実践ガイド)」着物でめぐる日本遺産～織物の町で見つける別世界～



日本遺産認定10周年記念「桐生にもある日本遺産」オリジナル御朱印風スタンプラリー

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の保存又は活用の現況について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 適正な保存を図るため、本市では全ての指定等された文化財を対象に現状確認調査及び所有者・管理者への聞き取りを実施し、群馬県においては指定・登録文化財、重要な埋蔵文化財包蔵地に対して群馬県文化財保護指導委員による「文化財パトロール」を実施している。今後は、これまで実施してきた保存・管理に係る事業を継続するとともに、保存活用計画及び「文化財保存活用地域計画」の策定を進め、適正な保存活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市重要文化財である絹然記念館では、桐生の歴史・文化に係る資料のほか、企画展も開催している。また、同じく市重要文化財の有鄰館では、絵画・写真等の展示や演劇・コンサートなど、様々な催しが開催され、文化活動の拠点として適切に活用している。
 ・国、県及び市指定文化財の現状及び管理状況調査を実施したほか、所有者及び管理者への指導を行った。
 ・群馬県文化財保護指導委員による文化財のパトロール報告の指摘物件については、所有者・管理者あてに改善を依頼した。
 ・文化財建造物である市有施設「桐生明治館」では、作品展や写真展等の企画展を実施し、適切な管理・活用を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・文化財の保存・活用について、安全な公開方法等の対策を引き続き検討する。

状況を示す写真や資料等

有鄰館 各種イベントチラシ



桐生明治館 銀幕の名優写真展

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
文化財の修理に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 保存修理工事など保存に伴う経費については、指定・登録文化財とともにそれぞれの補助金交付要綱に基づく支援措置を図り、目的や状況によっては、地域活性化や観光振興の補助事業を活用することにより保護を図る。また、重点区域内の建造物については、文化財保護法令における指定や登録のほかに景観法による景観重要建造物、景観重要樹木の指定や歴史的風致形成建造物の指定による景観の保全等、その保護を図る。重伝建地区においては、これまで実施してきた伝統的建造物保存修理、防災対策事業等による文化財の維持管理とともに本町通り整備事業などによる地区内の景観形成を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

群馬県指定天然記念物「桐生城跡日枝神社のクスノキ群」並びに市指定天然記念物「鎗木のアラカシ」、「椿森のツバキ群」及び「白髭神社のシラカシ」の保護養生に伴い、管理者に対して文化財保護の観点から指導を行うとともに、事業費の一部を補助した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・指定及び登録文化財の現状把握や修理に伴う指導等を行うとともに、各種補助金の活用についても検討していく。

状況を示す写真や資料等



桐生城跡日枝神社のクスノキ群
保護養生実施後



鎗木のアラカシ 保護養生実施後



椿森のツバキ群 保護養生実施後



白髭神社のシラカシ 保護養生実施後

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
文化財の防災に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

所有者に対しては防災意識の向上を図るため訪問時に防災の呼びかけを行っている。毎年「文化財防火デー」にあわせて、文化財建造物や指定文化財を保管している建造物を対象に桐生市消防本部や消防団と連携して文化財消防訓練を実施し、近隣の住民にも参加を呼びかけ、啓発を強化している。また、桐生明治館や桐生市有鄰館、彦部家住宅においては公開施設であるため独自に消防訓練を実施、桐生新町伝建地区においては「桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区防災計画」を策定し、地域住民参加による防災避難訓練を行っており、今後も継続して進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

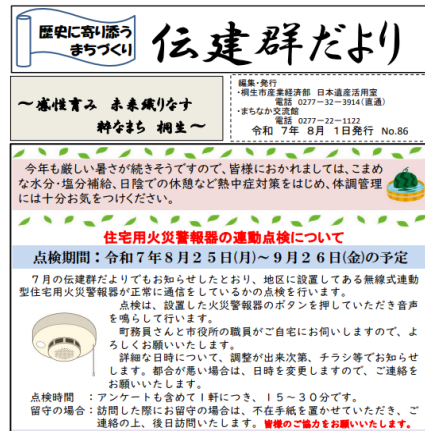
・伝建地区では、火災発生の早期発見、早期通報を図るべく地区内の建物に設置した、無線式連動型住宅用火災警報器の作動試験を実施した。また、地区住民の災害に対する認識など防災意識の向上のため防災イベント実施した。
 ・毎年、「文化財防火デー」に合わせて文化財防火訓練を実施しており、令和7年度は天満宮で実施した。
 ・重要文化財である彦部家住宅では、防火対策として消防ポンプ、火災報知設備、避雷設備等の各種点検を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・伝建地区では、地区住民の高齢化が進んでおり、災害時の対応など地域の体制を強化することが課題となっている。 ・防災訓練の実施方法等を検討し、毎年訓練を行う。

状況を示す写真や資料等

- 無線式連動型住宅用火災警報器作動試験
 - ・日程 令和7年8月25日(月)～9月17日(水)
 - ・結果 206件中、正常161件、異常3件(対応済)
 施設入居者4件、不在29件、空き家9件
 (運動している隣家で正常を確認済)



伝建群だより

～感性育み 未来盛りなす 神奈まら 桐生～

今年も厳しい暑さが続きそうですので、皆様におかれましては、こまめな水分・塩分補給、日陰での休憩など熱中症対策をはじめ、体調管理には十分お気を付けください。

住宅用火災警報器の運動点検について

点検期間：令和7年8月25日(月)～9月26日(金)の予定

7月の伝建群だよりでもお知らせしたとおり、地区に設置してある無線式連動型住宅用火災警報器が正常に通信をしているかの点検を行います。

点検は、設置した火災警報器のボタンを押していただき音声を鳴らして行います。

町務員さんと市役所の職員がご自宅にお伺いしますので、よろしくお願いいたします。

詳細な日時について、調整が出来次第、チラシ等でお知らせします。都合が悪い場合は、日時を変更しますので、ご連絡をお願いします。

点検時間：アンケートも含めて1軒につき、15～30分です。

留守の場合：訪問した際にお留守の場合は、不在手紙を置かせていただき、ご連絡の上、後日訪問いたします。皆様のご協力をお願いいたします。

- 令和7年度重伝建地区防災イベント【開催概要】
 - ・開催日 令和8年3月29日(日)
 - ・場所 まちなか交流館
 - ・内容 起震車他



文化財防火訓練



彦部家住宅 消防設備点検の様子

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
文化財の普及・啓発に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財の保護に関する正しい理解と意識向上を図るため、文化財の公開に努め、各種事業の実施、情報の発信を積極的に行う。「近代化遺産一斉公開」やスタンプラリーの開催、「文化財めぐり」、所管施設の無料公開といった子どもから大人まで幅広い世代が文化財に触れる機会を創出する。講座事業としては「立正大学デリバリーカレッジ」や「出前講座」を開催し、文化財の知識と歴史的背景を伝える事業を継続して実施する。さらに、出前講座や歴史まちづくり講演会などの講座事業とともに、見学会など各種イベント事業を開催することにより、文化財について幅広い知識を得ることのできるように取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・10月20日の「近代化遺産の日」に合わせ、ノコギリ屋根工場をはじめとする市内近代化遺産35か所を公開し、買物や食事、染織体験等を通して、文化財施設の普及・啓発を行った。
 ・桐生明治館では、「桐生明治館開館記念日」「県民の日」「文化財保護強調週間」等に入館料を無料とすることで、多くの市民に親しんでもらう機会を作り、期間中の入館者は588人であった。
 ・出前講座で市内の文化財を紹介し、市民への啓発を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	子どもから大人まで幅広い年齢層を対象として、文化財の公開や文化財を紹介するイベントなどを検討し、今後も実施していく。

状況を示す写真や資料等



ショップ&ギャラリー象(かたち)
 今回の公開事業で新たに追加



桐生明治館

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和7年度
重伝建でなんだろう？ まず地元住民対象ツアー	4月3日	桐生タイムス
新人の囃子手、舞手舞台に 春季例大祭で太々神楽奉納	4月18日	桐生タイムス
桐生倶楽部公開講座 桐生の伝建群に新風を	5月3日	桐生タイムス
桐生市文化祭 涌丸獅子舞で開幕祝う 保存会が初の舞台披露	5月12日	桐生タイムス
翁やおかめなど神楽面ずらり 桐生歴史文化資料館で	5月27日	桐生タイムス
集大成となる10メートル超の油彩画 有鄰館塩蔵で	6月6日	桐生タイムス
まちなか交流館1周年 16日に記念の講演会開く	6月30日	桐生タイムス
雨雲の間突き、祇園祭挨拶廻り 若衆、背広姿で練り歩く	7月2日	桐生タイムス
留学生もPRに一役 桐生織協 ゆかた帯とゆかた展	7月11日	桐生タイムス
重伝建をドローンで空撮 歴史的街並みを記録・データ化	8月8日	桐生タイムス
白瀧神社例大祭で 地元の神楽じっくり味わう	8月16日	桐生タイムス
まちなか交流館に5台集結「屋台総揃え」史上初の同時展示	8月26日	桐生タイムス
今年は1カ月 桐生ファッションウィーク えびす講まで含め会期延長	8月29日	桐生タイムス
本番さながらがイト研修 未来創生塾 来月24日「日本遺産めぐり」でデビュー	10月27日	桐生タイムス
子どもたちの描いたふるさと 24日まで絹襷記念館で作品展	11月1日	桐生タイムス
来場者1万人超す「祇園屋台総揃え」が盛況	11月4日	桐生タイムス
年の瀬の「市」にぎわう 重伝建で骨董市、紗綾市	12月13日	桐生タイムス
「織都桐生」巡って金運アップ 案内人の会	1月6日	桐生タイムス
桐工染織デザインコースの力作100点ずらり 煉瓦蔵で卒業制作展示始まる	1月16日	桐生タイムス
広沢・加茂神社の節分の奇祭「御篝神事」火投げ、今回で終了	2月4日	桐生タイムス
「売るのは文化！」で30周年 買場紗綾市	3月9日	桐生タイムス
重伝建地区の南玄関に 矢野園、5月リニューアル	3月28日	桐生タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重伝建地区を中心に今年度も様々なイベントが開催された。まちなか交流館を中心に開催された「祇園屋台総揃え」は来場者1万人を越すなど重伝建地区に人の流れを生み出すイベントとなった。地元住民や民間企業を中心とした取り組みも多く、一時的なものではなく継続的にイベント等が開催されるよう、支援していくことが今後必要になる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史まちづくりに関する取り組み等に関する情報を引き続き収集するとともに、市民が歴史まちづくりに興味を持っていただけるよう積極的な情報発信を行っていく。

状況を示す写真や資料等



桐生タイムス
令和7年4月18日掲載



桐生タイムス
令和7年8月8日掲載



桐生タイムス
令和7年11月4日掲載

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

市民団体等との連携について

計画に記載している内容 文化財の保存活用に関わり、地域住民が主体となって組織されている各団体との連携強化や官民協議による保存活用を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

“織都桐生”案内人の会は、桐生の観光ガイド組織として平成26年8月に発足し、50名を超える会員で組織され、桐生新町伝建地区を中心に、お客様の要望に沿った案内を行っている。主な連携した取り組みとしては、講演会とセットにした散策ツアー(R1)や歴史的風致を巡る散策ツアー(R2)を市との共催事業として実施している。また、市主催事業として行った首都圏情報発信事業において講師として事業協力をいただき、桐生市と徳川家の関係について講義をしていただいた(R6)。その他、会としての取り組みとして、オンラインによる桐生散策が楽しめるよう、桐生市観光物産協会のYouTubeチャンネルでの動画配信(R3~)やInstagramでの情報発信(R6~)、自主企画ツアー等を行っている。令和7年11月1日(土)には桐生祇園屋台総揃えイベントと連動した自主企画ツアーを開催した。
・桐生歴史文化資料館では、生人形白瀧姫像等の常設展示をはじめ、企画展示「桐生周辺の神楽」や企画展示「思い出の新川遊園地」など市民の視点で設定したテーマに基づいた企画展示を開催した。
・今年度もわがまち風景賞バスツアーを実施し、一般参加者32人、事務局5人の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
“織都桐生”案内人の会との更なる連携を図るうえで、案内人の高齢化及び実働人数が減少していることが引続き本組織の課題である。継続的な連携を図っていくためにも、新規の案内人の募集活動や活動母体である桐生市観光物産協会の組織強化について、市で出来る限りの動きを模索し実現させる必要がある。その他関連団体の取組についても積極的に取り上げられるよう工夫をする。

状況を示す写真や資料等



わがまち風景賞バスツアー2025

「わがまち風景賞」を受賞した物件を巡るバスツアーを実施します。このツアーで桐生織物の歴史や文化を垣間見ることが出来ます。
今回は、黒保根の旧水沼製糸所、史跡豊かな鹿角、東の織物参考館「紫」、後藤織物などの絹産業遺産を巡ります。
この事業は、ファッションタウン桐生推進協議会まちづくり委員会と桐生市の共催事業です。
期日=11月22日(土)



時間=午前9時~午後4時(予定)
集合場所=桐生市役所臨時駐車場(桐生年金事務所裏) ※歩きやすい靴・服装でご参加ください。
見学場所=黒保根歴史民俗資料館、旧水沼製糸所、鹿角、旧須藤邸、織物参考館「紫」、KICCO、カトリック桐生教会、後藤織物、青柳ノコギリ屋根店 ※見学場所は変更になる場合があります。
募集人数=30人(先着順)
費用=2,000円(昼食代・見学料・保険料など) ※当日集金します。
申し込み=10月14日(火)午前9時から28日(火)午後5時までに、電話で桐生商工会議所 ☎45-1201へ。
問い合わせ=桐生商工会議所 ☎45-1201、都市計画課歴まち・街路係 ☎32-3792

広報きりゅう10月号掲載
わがまち風景賞バスツアー参加者募集

令和7年度“織都桐生”案内人の会自主企画ツアー



わがまち風景賞バスツアー当日の様子

評価対象年度		令和7年度
・法定協議会等におけるコメント		
コメントが出された会議等の名称: 桐生市歴史まちづくり推進協議会		
会議等の開催日時: 令和8年2月18日		
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建築物保存技術継承支援事業について、実施・検討にあたっての課題と対応方針の部分に、「新たな参加者が見込めないため」と記載してあるが、新たな参加者を確保するためにどうするのか、新しい人に参加してもらうための方法を考えていかなければならないと思う。 ・進行管理・評価シートの様式や見せ方について、細かくたくさん書いてあるので内容を確認することに時間がかかる。評価シートなので詳しく書かなければいけない部分が多いと思うが、かえって読みづらくなっている。わかりやすい表現や、パッと見てわかるような書き方の工夫が必要であると感じる。 		
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建築物保存技術継承支援事業については、担当課と協議し新規参加者の確保に向けた工夫について検討してもらう。 ・進行管理・評価シートの表現方法については、実績報告を兼ねているためすべてを簡略化することは難しいが、可能な範囲で簡潔に内容をまとめるとともに、表現方法について研究をしていきたい。 		